



滝川市 滝川地方卸売市場株式会社 『青果物を香港、ロシア、アメリカへ』

【主な品目】

メロン、かぼちゃ、長いも、とうもろこし等

【主な輸出先国・地域】

香港、ロシア、アメリカ等

【輸出に取り組んだ経緯と概要】

- ◆ 現在、輸出を担当する職員が、平成27年に商社から転職して当市場に勤務し、商社で培った経験や人脈を活用し、輸出に取り組んだのがきっかけ。
- ◆ 輸出初年度は、メロン・庄内柿・たまねぎ・りんごなどを香港・マレーシア・台湾に輸出。
- ◆ 現在は、富良野産のメロンを主体に、先方の注文に応じ、道内産の青果物を香港・ロシア(サハリン)・アメリカ等へ輸出している。

【輸出実績】(平成27年より輸出開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
令和元年度	2,000	6月中旬～ 11月上旬
令和2年度	3,000	
令和3年度	5,000	



滝川地方卸売市場株式会社外観

【輸出に取り組む際に生じた課題及び対応】

- 航空輸送のコスト削減と輸送スペースの確保が課題であった。輸送費は、季節や航空会社によって一定でないことから、航空会社と粘り強く交渉し、低価格枠を獲得した。また、輸送スペースについては、早めの予約とそれに合わせた計画的な出荷及び航空会社との連携により定曜日での安定した発送(輸出)につなげた。
- 海外の取引先と安定した取引を継続していくためには、取引先との信頼関係の構築が不可欠であり、メールやSNSでのやり取りでは、可能な限り速やかに返信するよう心がけた。また、貿易条件においては、取引先の要望に応じてC&F(売主が荷揚げ地までの運賃を負担)を採用した。これらにより、継続的に注文が来るようになり、コロナ禍においても順調に輸出額を伸ばすことができた。



適切な保管と温度管理



出荷前のかぼちゃ

【今後の課題・展望】

- 輸出業務に携わる職員の育成が課題。海外の取引先と直接商談するため、外国語(主に英語)の習得が必須であり、今後、時間をかけて後継者を育成していく予定。
- 令和4年度に向けては、とうもろこし・長いも・かぼちゃに力を入れ、輸出額の倍増を図る。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により運行中止となっている、シンガポールへのLCC便の再開に期待。
- 新たな輸出先の開拓。

【活用した支援・施策】

令和27年度農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業(経済産業省)

【ウェブサイト】 <https://takiichi.co.jp>

【連絡先】 担当者名: 開発部 主管室長 林 嘉信 TEL:0125-24-6121



海上コンテナへの積み込み